情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU部会
地上業務委員会(第１８回) 議事概要（案）

１　開催日時

平成２３年１０月２６日（水）１０：００～１２：３５

２　場所

総務省　１０階　共用１０階会議室

３　出席者（敬称略、順不同）

［専門委員］

三瓶　政一(主査)、足立　朋子、飯塚　留美、小坂　克彦、阪田　史郎、中津川　征士、中村　勝英、橋本　明

［説明者］

荒木　正治、植田　由美、樫木　勘四郎、清水　芳孝、田尾　雄喜、枚田　明彦、古山　賢二、三留　隆宏、宮寺　好男、吉野　仁

［事務局］

田沼企画官、加藤係長、奥井官（移動通信課）、保坂補佐、丸橋係長、山下官（衛星移動通信課）、齊藤官（基幹通信課）

４　配付資料

資料地－１８－１	地上業務委員会（第１７回）の議事要旨
資料地－１８－２	ITU-R SG5 関連会合報告書（案）
資料地－１８－３	ITU-R SG5 関連会合への日本寄与文書（案）
資料地－１８－４	ITU-R SG5 関連会合への対処方針（案）
参考資料１	ITU-R SG5 WP5A,WP5B,WP5C会合の開催案内
参考資料２	ITU-R SG5会合の開催案内
参考資料３	ITU-R SG5 関連会合の日本代表団一覧
参考資料４	地上業務委員会　構成員名簿

５　議事概要

（１）地上業務委員会（第１７回）の議事要旨について

【資料地－１８－１】

地上業務委員会（第１７回）の議事要旨について、事務局から説明があった。

なお、修正項目がある場合は１１月２日（水）までに事務局へ連絡する旨了承された。

（２）ITU-R SG5　関連会合の報告について

【資料地－１８－２】

事務局から、平成２３年６月に開催されたWP5A、5B、5C（第７回）会合の報告があり、エディトリアルな修正が施された後、承認された。

（３）ITU-R SG5関連会合への日本寄書について

【資料地－１８－３】

事務局より、今回開催されるITU-R SG5関連会合への日本寄書案の件数(18件)及び相互に関連のある寄書文書案は一括して提案説明及び質疑を行う旨説明があった。

【資料地－１８－３―１】及び【資料地－１８－３―２】

樫木氏から「Question ITU-R 241-1/5 のpreliminary draft revisionの為の作業文書の改訂提案」及び「CRSレポートPart 1と2に対する改訂提案」に関する寄与文書案の説明が行われ、エディトリアルな修正が施された後、承認された。

【資料地－１８－３―３】及び【資料地－１８－３―４】

事務局から「「ITSアプリケーションのためのミリ波自動車レーダ及び無線通信システム」新勧告草案[LMS.AR]、又はITU-R勧告M.1452-1改訂草案に関するテキストの修正提案」及び「高度ITS無線通信に関する新報告草案への修正提案」に関する寄与文書案の説明が行われ、エディトリアルな修正が施されるとともに、以下の質疑応答の後、承認された。

（質疑応答）

小坂専門委員：資料地－１８－３－３について、77.5-78.0GHzが分配されていない中で、ＳＧとして研究を進めることには疑問を感じる。

橋本専門委員：分配されていないから絶対研究をしていけないわけではないため、Editor’s noteに断りを付しておけばよいと考える。

橋本専門委員：資料地－１８－３－４について、現行のAttachmentの記述では分かりづらいので、章ごとに変更の有無を入れる等、全体の構造が見えるように工夫してもらいたい。

事　　務　　局：了。

【資料地－１８－３―５】及び【資料地－１８－３―６】

清水氏から「広域センサー・アクチュエータネットワークに関する新勧告草案の修正提案」及び「広域センサー・アクチュエータネットワークに関する新レポート草案の修正提案」に関する寄与文書案について説明が行われ、承認された。

【資料地－１８－３－７】

植田氏から「WP 5Aに割り当てられたワイヤレスアクセス関連研究課題の見直し」の寄与文書案について説明が行われ、エディトリアルな修正が施された後、承認された。

【資料地－１８－３－８】

三留氏から「ITU-R暫定新報告案M.[UAS-BANDS-NEW-ALLOC 5000-5010 AND 5010-5030 MHz]の修正提案」に関する寄与文書案について説明が行われ、エディトリアルな修正が施された後、承認された。

【資料地－１８－３－９】、【資料地－１８－３－１０】及び【資料地－１８－３－１１】

宮寺氏から「ITU-R勧告M.1842-1の暫定改訂案に向けた情報文書」に関する寄与文書案、古山氏から「VHF海上移動帯における時分割多元接続（TDMA）を使用する船舶自動識別装置（AIS）の技術特性」に関する寄与文書案、宮寺氏から「ITU-R暫定新勧告案M.[500 kHz-16 QAM]の修正提案　500 kHz帯における海岸から船舶への海上安全及び保安関連情報の放送のためのデジタルシステムの特性」に関する寄与文書案についてそれぞれ説明が行われ、エディトリアルな修正が施されるとともに、以下の質疑応答の後、承認された。

（質疑応答）

橋 本 専 門 委 員：資料地－１８－３－１１について、Annex2及び3で特段の修正が無いようなら、削除すべきである。

宮　　寺　　氏：変更が無い旨を追記し、削除する。

【資料地－１８－３－１２】

田尾氏から「ITU-R勧告M.1874の改訂に向けた要素　「津波の共鳴応答を検出するという海洋レーダーの新しい役割」」に関する寄与文書案について説明が行われ、エディトリアルな修正が施された後、承認された。

【資料地－１８－３－１３】及び【資料地－１８－３－１４】

荒木氏から「勧告ITU-R F.1336改訂用作業文書の修正案　1-70GHzにおける共用研究用P-MP方式オムニ、セクタアンテナ等基準放射パターン」及び「勧告ITU-R F.383、F.635、F.1099の見直し提案」に関する寄与文書案について説明が行われ、承認された。

【資料地－１８－３－１５】

植田氏から「WP 5Cに割り当てられた研究課題の見直し」に関する寄与文書案について説明が行われ、承認された。

【資料地－１８－３－１６】

枚田氏から「Report ITU-R F.2107-1 の改訂」に関する寄与文書案について説明が行われ、承認された。

【資料地－１８－３－１７】

事務局から「新 Question “Fixed service use and future trends” の提案」に関する寄与文書案について説明が行われ、承認された。

【資料地－１８－３－１８】について

事務局から「新暫定勧告案ITU-R F.[71 -86 GHz]の修正案　71-76/81-86 GHz帯で運用する固定無線方式に関する周波数配置」に関する寄与文書案について説明が行われ、承認された。

（４）ITU-R SG5関連回会合への対処方針について

【資料地－１８－４】

事務局より、ITU-R SG5 関連会合への対処方針（案）について説明が行われ、エディトリアルな修正が施された後、承認された。

（５）その他

修正の必要がある寄与文書については、１０月２８日（金）１２：００までに事務局に提出することになった。

また、承認された寄書について、大きく主旨の変更がない限りは、文書案の変更の可能性がある旨、事務局から了承を求め、承認された。

以上